

## 床倍率チェックを使用する方法

文書管理番号:1208-01

# Q.質問

壁量チェックの画面で、床倍率チェックのアイコンがグレー表示になっていて、クリックすることができない。

床倍率チェックを行うには、どうすればいいか。

## A.回答

🎹 (床倍率チェック)は、性能表示で定められたチェック方法です。

むつうの「準備入力」で、チェック方法の「性能表示」を考慮することで、
 「「(床倍率)
 チェック)を行うことができます。

#### 【注意】

#### 操作手順

① └/ (壁量チェック)で、「設定」⇒「準備入力」をクリック

🕎 ファイル(F)	編集(E) 表	示(V) y-j	ν(T) 配置(	[D) 作図モ-	۰۴*(M)	設加	E(S) 9/25*9(W) 41/7° (H	)		
5	८ 🖸 🖸	Ð,	5 J	×			<u> </u>			
P>F*9	パッ 窓指定	E 7. – P	表示拡大	表示縮小	全体図		検索範囲(A)			
	1 1755	_					原点移動(O)			
クイックメニュー	THE						全体図(R)			
15.0							λ°-ム枠(Ζ)			
							画面拡大率(M)			
間の壁						-	画面連動(D)			
亡应变ingh						Г	準備入力(P)	1 -	2	
/#10997177							壁材質の編集(K)			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
. E							床材質の編集(F)			
ヲェック結果							表示部材(B)			
							(1)、日本(1)、 歴史回南恐士(1)			
接合部金						_	至里凹與設定(П)			Ψ., C

\* 準備入力の画面が表示されます。



- ② 準備入力の画面のチェック方法で、
   <性能表示>の「考慮する」にチェックを入れ、
   目標等級を設定
  - \* ここでは、耐震等級・耐風等級ともに「等
     級 2」を選択します。
- ③ 基準風速(Vo)に当該地域の値を設定
  - \* ここでは、基準風速 (Vo) を「34」 m/s とします。
  - \* 基準風速(Vo)の設定範囲は 30m/s~
     46m/s で、設定値は 2m/s 刻みに動作します。

また、任意の数値も入力が可能です。

\* 「準備入力」の各項目については、ヘルプ をご覧ください。

準備入力 >	<
工法 木造 OK	
防火仕様 一般建築物 > キャンセル	
積雪量 一般地域(30cm以下) ~ ヘルフ(H)	
屋根仕様 軽い屋根 ~ 【詳細設定(D)	]
地震地域係数(Z)	
令46条/告示1540(1541)号 1.0 ∨	
令86、87、88条 1.0 ~	
性能表示 1.0 ~	
地表面粗度区分 ~	
基準風速(Vo) 34 🚽 m∕s	
チェック方法	1
<建築基準法> 3	
☑ 令46条/告示1540(1541)号を考慮する[主に2階建] □ 令86、87、88条を考慮する[主に3階建]	
<性能表示>	
☑考慮する[2階建以下]	
耐震等級 等級2 ~ 2	
耐風等級 等級2 ~	

【参考】性能表示の目標等級について

耐震等級の種類

等級 1(基準法):建築基準法で定められている耐震性能を満たすもの 等級 2:品確法住宅性能表示 等級 2を目標とする場合に選択する 等級 3:品確法住宅性能表示 等級 3を目標とする場合に選択する

耐風等級の種類

等級1(基準法):建築基準法で定められている耐風性能を満たすもの 等級2:品確法住宅性能表示 等級2を目標とする場合に選択する

### 【注意】

基準風速(Vo)は、告示 1454 号第 2-1 による建設地の基準風速を入力します。 チェック方法「<建築基準法> 令 86、87、88 条を考慮する」および「<性能表示>考慮する」の 耐風等級「等級 2」を選択した場合は、設定が 必ず必要です。 未設定の場合、右図のメッセージが表示され、 次の作業に進めません。

CPU

- ④ 「詳細設定」をクリック
  - \* 詳細設定の画面が表示されます。
- ⑤ 「床材質」タブをクリックし、「床構面」「屋根構面」「火打構面」を設定
  - \* ここでは、床構面「構造用合板 12mm 以上 根太@340 以下 落し込み N50@150 以下」、
     屋根構面「構造用合板 9mm 以上 転ばし N50@150 以下(30 度以下)」、火打構面「〈なし〉」
     とします。

詳細設定 <b>5-1</b>	×
耐力壁 壁量係数 天井高·横架材 接合部検討 床材質	
床構面	倍率
構造用合板12mm以上 根太@340以下 落し込み N50@150以下	~ 2.00
屋根構面 (5)-2 構造用合板9mm以上 転ばし N50@150以下	a b c <mark>屋根勾配別の倍率</mark> ↓ 0.70 0.50 0.00 a: 30度以下 b: 30度超45度以下
火打構面	c: 45度超
<なし>	✓ 0.00
	合計倍率 2.70 2.50 2.00
	材質編集( <u>M</u> )
火打構面存在床倍率計算における基準	
◉ 床区画単位	
○小区画単位	
	6
	OK キャンセル ヘルフペビ)

- \* 「床構面」「屋根構面」のリストに希望の材質がない場合は、「材質編集」から追加できます。
   「設定」⇒「床材質の編集」から追加してもかまいません。
- \* 「床材質」タブで設定した「床構面」「屋根構面」「火打構面」は、 (床倍率チェック)で



- ⑥ 「OK」をクリック
  - \* 準備入力の画面に戻ります。
- ⑦ 「OK」をクリック
  - \* 準備入力の画面が閉じます。

準備入力		( <b>7</b> ) ×								
工法	木造	ОК								
防火仕様	一般建築物 ~	キャンセル								
積雪量	一般地域(30cm以下) ~	· ^ルフ(円)								
屋根仕様	軽い屋根 〜	· 詳細設定(D)								
地震地域係数(Z)										
	令46条/告示1540(1541)号 1.0 ∨									
	令86、87、88条	1.0 ~								
	性能表示	1.0 ~								
	地表面粗度区分	~								
	基準風速(Vo) 34	🚔 m / s								
ーチェック方法										
<建築基3	準法>									
☑ 令46条/告示1540(1541)号を考慮する[主に2階建] □ 令86、87、88条を考慮する[主に3階建]										
<性能表示>										
☑考慮する[2階建以下]										
耐震等	₩ 等級2 ~									
耐風等	F級 等級2 ∨									

\* (床倍率チェック)のアイコンがアクティブになり、クリックできるようになります。

7711/(F)	編集(E)	表示(V)	୬-ル(T)	配置(D)	作図モード(M	) 設定(S)	<u> </u>	W) NIJ	'°(Н)				
5 7)5°9	<b>گ</b> اللہ اللہ	● 窓指定	€. λ*-∆	■ 2 表示拡大	<b>大</b> 表示縮小	全体図	<b>、</b> 要素選択	•					
≡ ¢۲۶0۶=:	1-	1階	•	▲ 序	和TTO AUTO E倍率自動配置	│ 任意倍率		<b>》</b> 火打	↓ 耐力壁線の合	算耐力	<b>上。</b> 」壁線解除	<b>下</b> 床倍率詳細	
	1	階											
耐力壁													
İ													}
床倍率チェッ	2												
ナエリク結果													
() (接合部金。)								ſ		PS 🛊			
							11		洗面脱	衣室	WC		(C)
見付面積							υ.	D			WG		